

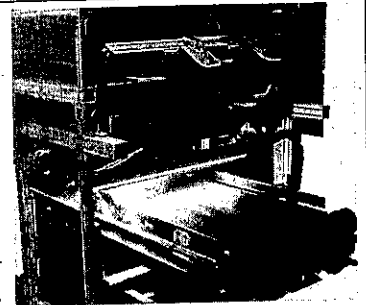
2016年1月29日付

日刊木材新聞

カラー合板全量自動検査システムを開発

ヒューテックオリジン

ヒューテック・オリジン(香川県高松市、中村孝社長)は、従来の金属表面検査装置(3D-Res)の検出性能をカラー合板向けに大幅に向上し、カラー合板全量自動検査システムとして販売を開始した。同システムは、カラー合板の最終目視検査



カラー合板全量自動検査システム
返し、ユーザーが満足するように性能を向上させている。
同社は1955年5年の創業以来、独創的な技術力と発想で確かな製品づくりに取り組んでい

員を大幅に削減したい、ミスによるクレームを最大限ゼロに近づけたい、素材と最終検査の欠点の相関をデータにし、生産効率を向上したいなどの要望を受けて開発された。

このシステムは、既にカラー合板製造関連の企業に「画像検査システム」として納入されており、納入企業の操業状況に合わせて自動検査システムのバージョンアップを繰り返

る。また、技術の可能性を追求した高い開発・製品化力で、潤滑分野をはじめ、オプティカル機器、画像処理分野でも次々と新しい製品を生み出している。
主な製品は、金属業界・合板業界向けの画像検査測定装置(表面検査・平坦度測定・形状検査)、各種潤滑装置(塗油器各種)、オプティカル機器(セーフマーカー)。これらの製品を国内外問わず金属加工、鋼板メーカー、製鉄所・合板製造などに提案し、販売を拡充している。
また、フィルム・印刷物のCCDカメラ方式による検査システムの日本でのシェアは40%を占めている。今後、同社の技術力を生かし、木材関連企業への商品提案を高めていくとしている。